

ゼロから新規就農～試行錯誤の新しい挑戦～

富谷市石積地区で新規就農した村山<sup>のぞみ</sup>希さんは、就農準備資金・経営開始資金を活用して、令和5年4月から営農している。

村山さんは非農家の出身。就農を目指したきっかけは「育児が落ち着き、一から何かをつくる経験をしてみたい」と思案し、農業を志した。決めたものの「どうすれば就農できるか手順が全く分からなかった」と語る村山さん。調べるうちに県農業大学校が主催する社会人の新規就農者を対象とした研修「ニューファーマーズカレッジ」に行きついた。

受講しながら、土地探しと就農計画書の作成も進めていたが難航していた。「何度も就農を諦めかけたが、大学校の先生に励まされた。計画の内容を練り上げるうちに、個人事業主の自覚が強くなった」と当時を振り返る。

農地はカレッジ同期の伝手をたどって、遠藤<sup>えいじ</sup>榮壽さんから約70㎡を賃借した。遠藤さんは「就農に向けて準備をしている」と思い、土地を貸すのは即決だった。農地をきちんと管理しており感心する」と話す。

村山さんは「イチジクの露地と施設栽培を早めに収益化させたい」と目標を話す。

【記事執筆】宮城県農業会議

### 村山さんと遠藤さん



### イチジクの芽かき作業をする村山さん



### 灌水装置を使用している施設栽培のイチジク

